



ROTARY  
BRINGS  
HOPE

ロータリーは  
希望を  
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉雄 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 76 名 出席 52 名 出席率 75.36 % 前回出席率 83.82 % 修正出席 62 名 確定出席率 91.18 %

ゲストスピーチ

ガバナー公式訪問スピーチ

九 里 茂 三 氏



藁科松柏は上杉鷹山の腹心で医者、隆世の智と博学と愛国の玉情を以て鷹山側近の少壮幹部を養成した人物であります。時は元禄(約 260 年前)の頃、江戸

ずまいの間、太平と富裕とに馴れた当時の世相に危機感を抱き、郷里の友人に書きおくれた書簡の一節を読みましたので、少し読ませてまいります。

……近代の皆様は太平うち続き候故、誰か奢をすすむるとなしに秋津洲一統に奢り立ち候て、誰も彼も奢の腹に生れ、奢りの内に育ち候えば、貧乏するは何故との合点なく、ただめでたしありがたく唯し立て候ほどに、世界には愁というものがあるかとも、難儀というものがあるかとも知らぬ衆たち、人情というものを露合点のゆかぬ風流人の旦那ぶりて、座しては褥に座し、行くには馬駕籠にゆすられて行きたもりて、暑いも寒いもほうだいなしか。……  
当時の勢いは、もはや太平うち続き、四海静まり過ぎて上下共に奢りの病根ゆえ、次第に病症顕われ候て、誰も彼も気むずかしくござ候間、腹立つ人情になり候故、少しも常に変わり候事がござ候えば、人の心動き候て、ふうふう仕る様に御座候。……

太平に馴れ、豊饒の中に育った若者達が、却って

不満の虜となり、少しでも意に添わない状況に出くわすと、かっとなってしまふ。つまり自己制御できない人間に育ってしまうことを恐れるのであります。現代の青少年のことを考えると、そのことで悩む訳ですが、我々は必死になってここまで復興、工業化社会という中で、何もかも便利で、豊かな、まさに太平の世を謳歌してきた訳ですが、その結果、陰の問題として教育問題が盛んに騒がれている状況で、根っ子はどこかということ考えた時、この文書で鮮烈に考えさせられたということです。また、この事は、知能の発達とも深く関わるという識者の説もあり、現代の青少年の精神的幼稚さと関係はないか。問題の根は深いといわなければなりません。そんなことで、新しい子育ての問題も、産業の発達や文化の発展と同じウエイトで人間の能力を育てていかなければならないということ忘れて、昔の苦勞話だけで“ダメだ…”と言ってしまう勝ちで、そのへんの匙加減がむづかしいところです。

この事を救う好個の指導は、青少年の社会参加、或はボランティア活動の推奨であります。また、みだりに欲望を充足させることを戒める大人社会の自粛が大切であります。我々にとって青少年は未来です。私の今年のテーマとして掲げた次第です。

さて次に、我々のロータリー人生について私見を述べさせていただきます。

昨年、原町での年次大会に R.I 会長代理として出

庄内空港の建設を推進しましょう

席した韓国のC・K・O氏の講演の中に、マッカーサーの“青春とは”という文書と合わせ、印象深い詩のことがありました。これは永六輔の詩で、

人が生きるということは

誰かに借りがあるということ

人が生きるということは

その借りを返しながら生きてゆくこと

誰かが私にしてくれたように

誰かにしてあげよう

人が生きるということは

誰かと手をとるということ

そしてその手のぬくもりを

いつまでも忘れないこと

めぐり会い 愛し この世を去る時

悔いのない人となるために

今日そして明日を生き抜こう

人は独りでは生きてゆけない

人は独りでは歩いてゆけない

親睦と奉仕のロータリアンの生きざまを、見事に詩いあげているのではないかと思います。

自分自身、省みみると、いかに多くの方から借りを作って来たのか…勿論、自分の親をはじめ、数え切れない程のひと様からの借りを受けてまいりました。出来るうちに何とか借りを返すことを思い続けている次第です。またこうして人とめぐり合い、そしてその親切を豊かに受けながら生きられるこのロータリーの仲間と喜びを実感する訳であります。

幸い、成功的に事業が継続し、家庭的にもまずまず恵まれているのがロータリアン、かと思えます。そんな事で何をお返しすべきかを考えますと、私はやはり「職業奉仕」ではないかと考えます。職業奉仕は色々と言われておりますが、私は具体例を知っていますので、いくつか申し上げたいと思います。

私の事務所の幹事役をしています相田吉助君がいます。彼に感動していることは、自分の建設会社の従業員の誕生日を手帳に記録し、誕生日には必ず自宅へ参上し続けています。本人は勿論のこと、家族の方にも感激されていますが、これは銭や金ではないと云うことです。彼は常々、金で結びついたもの

は金で離れると申しております。つまり成功的に導いてくれる従業員のことを本当に考え、出来るだけのことを行っているということは、まさに「職業奉仕」と言えます。その結果、事業も発展、社会にも貢献するという訳です。

また私は、かつて学生の頃、元、日本ビール馬越社長の「馬越教育財団」に選ばれ、三田のお屋敷へ参上した際、のし袋に「謹呈」と書かれたものをお盆に上げ、うやうやしく“どうぞお使い下さい…”と。そんなことに感動し、私は学校を創ると同時に奨学金制度を母の香典にいくらか足して基金に致しました。

先程の相田君には沢山の協力を頂いていますが、彼が言うには建設会社を始めた時、九里先生が精神的支えであったという事で、のちのち御恩を忘れぬよう、社員に言い聞かせているのだということです。そんなことで、自分の事業を支えてくれた方に対する恩義、自分の仕事を成功的に導いてくれた恩義、教育への奉仕、といったように見事に奉仕しています。

もう1人います。佐藤良平さんという箱屋さんがおり、保護士の仕事もしています。彼は少年院から出てきた子供さんを目にかけ、従業員として育てたり、心身弱者に対しても従業員として入って頂き、会社の相当部分を雇い入れております。この間会った時、誰かに“何人雇っているのか”と聞かれて大変怒ったといひます。雇ったということだけでなく“来てもらっている…”ということでした。つまり自分の協力者として大事にしている心構えが事業の成功に結びついているものと思われます。

私はロータリーの中でこういうことを聞き、また見せてもいただいて、自分として何をすべきかを模索し、わずかながらも実行している訳です。

さて次に、高令者の問題です。激しく産業を発展させようという時代は、とかく高令者や幼児が足手まといとなるというような風潮があり、許せないところでもあります。さんざん苦勞してここまで我々を育てた高令者を孤独に追いやっていたり、赤ちゃんを託児所に、精神的にほっぽり出すようなことが

あまりにも見えすぎています。せめて我々を支えてくれた高令者に対して何が出来るかを考えてみようと思います。また同時に、八十才人生ということで、自分の問題でもあり、高令者の生きざまを我々自身も互いに勉強しなければならない時期に来ております。我々と共に、高令者が活力をもって生きていただく道をつけなければならないと思っています。

大変あれこれ申しましたが、自分の反省としての金の使い方が、つい不用意になってしまうことがあります。金の使い方その人の値打が決まるともいわれています。鶴岡も米沢もつましく生き続けた伝統を持っています。決してケチではなく、つましく生きた方がいいのであり、健康的であるという事です。その結果、蓄積されたものが値打のあるものに投資されるというような金の使い方を考えねばならないと思います。

先程、宿で木下まさ子さんの“なでしこ”というおもしろい本を読みました。これは娘に対して母の経験をもとに忠告を与えるものとして日誌のように書いてありました。その中で貯金のことがあります。駿河銀行長岡会長の“月掛貯金の勧め”ということで、1日10円を月掛で50年積むと、元金は182,500円で、元利合計は1,039,304円となります。年6歩の計算だそうです。長岡さんは87年間続け、元金313,800円、元利合計で10,032,000円だそうです。10円づついい加減に使っていますが、そんなことを今朝発見致しましたので、ご参考迄に。

このクラブで色々財団に対しご寄付等も多いということを記録をもって承知しておりますが、今後そんなふうには有効に使っていただけたらと大変潜在的なことを申し上げる訳ですが、お願いでございます。大変雑然とした話で失礼申し上げます。

## 会長報告

山口篤之助君

1. 昨年より10日以上も遅く、ようやく当地方もつゆ明けが昨日宣言されました。先週の26日より30°以上の猛暑の中にR.I 253地区ガバナー九里茂三先生の公式訪問の行事が行われます。お暑い中、大変ご苦労様でございます。県内クラブでは当クラブが最初の様でございます。今朝9時より1時間会議所会頭室をお借りし、先生と会長、幹事の打合せと、クラブ計画についてのご指導をいただき、10時より市長へ表敬訪問して参りました。市長は出張中で助役さんとお話をいたしました。
2. 例会終了後、1時45分より本年度第1回クラブ協議会を産業会館第2会議室で行います。各委員長さんは勿論、委員の方々、また新しく会員になられました方の多勢のご出席をいただき、活発なご意見とご質問等をお願いいたします。
3. 去る25日、鶴岡商工会議所第6回「総参加全員大会」にクラブでご招待をいただき、代表して出席して参りました。10年、20年、30年以上の永年勤続優良従業員の表彰があり、大会宣言の朗読があって盛大に行われました。終って記念講演に、

元プロボクシング世界チャンピオンの輪島功一氏の「経営に生かすわがガンバリ人生」というタイトルで熱のこもったお話がありました。

4. 次週8月5日は定例の理事会を午前11時30分より行いますので、理事・役員の方は是非ご出席をお願いいたします。

## 幹事報告

松田士郎君

1. 会報の到着のお知らせ  
東京R.C
2. 例会時間・場所変更について  
温海R.C

8月4日(月)の例会を8月2日(土)に変更  
点 鐘 午後7時  
場 所 鼠ヶ関ビーチセンター  
登録料 3,000円

## 新会員紹介

山口篤之助君

清水二郎君(鶴岡工業高等専門学校校長)  
生年月日 大正15年2月14日  
出身地 東京都

結婚記念日 昭和32年5月11日  
家 族 妻  
趣 味 硬式テニス、絵画

### 新 会 員 挨 拶

清 水 二 郎 君



簡単にご挨拶をさせていただきます。

私は清水二郎でございます。大変覚えやすい名前です、下に「長」のついた人がいて、60年間悩まされ続けて参りました。その方は豪放で、力持ちですが、私

は気が優しく力がありません。

此度、鶴岡高専に赴任して参りましたが、高専の発展は地元の協力が重要と考えております。

特に2年後の63年には名称も専科大学に変わることが計画されております。また2年後には25周年にもなりますので、専科大学と25周年を目標に大学のあり方と改革を進めていくつもりです。

特に専科大学になれば地元の子弟に、より沢山入ってもらうよう協力をお願い申し上げます。

鶴岡高専の宣伝を1つだけさせていただきます。高専を卒業すると5年間で完全な技術者として伸びて行きます。しかし最近の情勢は、大学院レベルの学校への志望者が増えております。そういう時、5年間の制度がどう機能するかご理解願いたいと思います。

長岡と豊橋に科学技術大学がありますが、鶴岡高専の学生は3年に推薦入学しています。現在は毎年両大学へ15名位入ってます。それから東大、工大、東北大の3年に編入が認められています。今年も何人かの学生がそこに入っていきます。すなわち、鶴岡高専は毎年15%位の学生が企業以外の大学院レベルの教育を受けるために3年生に入って行っております。この道はあまり知られておりません。

R.C会員のお若い方にはお子さんを、あるいはお

孫さんには是非子供さん達の教育の中でこういう仕組みもあるということをご理解され、ご指導願いたいと思います。とりあえずのメリットですので、よろしくお願い致します。

これからR.C会員として努力致しますので、ご指導よろしくお願い致します。

### ス マ イ ル

- 張 紹淵君 故4代目会長佐藤伊和治さんの財団寄付の功労を記念して  
石黒慶之助君 九里先生の素晴らしいスピーチに感動して  
三井 徹君 アメリカに住む孫娘を連れてきて第3中学校に体験入学させ、予想以上の効果があったことに対し  
佐藤元伸君 7月25・26日に行われた山形県中学校水泳大会に次男が優勝したことに對して  
塚原初男君 九里先生が米沢興讓館時代の恩師であることにより  
山口篤之助君 九里先生のご指導に感謝して  
松田士郎君 九里先生のご指導に感謝して

### ゲ ス ト

R.I 253 地区ガバナー 九里茂三氏

### ビ ジ タ ー

- 鶴岡西R.C 菅原年雄君  
温海R.C 渡辺晃雄君

